

平成23年度博物館事業	04	2. 展示事業	27
1. 各種調査・講座・教室	06	2-1 特別展・企画展・収蔵品展	27
1-1 各種講座等	06	2-1-1 展示事業	27
1-1-1 各種講座等の運営	06	2-1-2 展示事業一覧	28
1-1-2 実施講座等の一覧	07	3. プラネタリウム事業	29
1-2 ボランティア事業	13	3-1 プラネタリウム事業	29
1-2-1 ボランティア事業について	13	3-1-1 プラネタリウム事業	29
1-2-2 ボランティア事業一覧	14	3-1-2 プラネタリウム番組	30
1-3 子どものための博物館事業	17		
1-3-1 子どものための博物館講座(博物館ジュニア教室)	17		
1-3-2 子どものための博物館講座一覧	18		
1-4 講演会・研究会の運営	22		
1-4-1 講演会・研究会の運営について	22		
1-4-2 講演会・研究会の一覧	23		
1-5 資料調査	25		
1-5-1 資料調査	25		
1-5-2 資料調査事業一覧	26		

平成23年度博物館事業

平成3年7月に開館した葛飾区郷土と天文の博物館は、郷土の歴史・文化の分野と天文の分野を併設したユニークな博物館です。一見調和しにくい二つの構成ですが、来館される方々の興味と関心にしたがって、郷土の歴史・文化に触れたり、天文学にアプローチしたりと、大人から子どもまでが「楽しみながら学べる博物館」を目指して、博物館の運営をしてきました。

こうしたなか、葛飾区教育委員会では、平成20年11月に「葛飾区生涯学習振興ビジョン」を策定し、その中の重点施策の一つに「郷土と天文の博物館事業の推進」を掲げ、様々な事業を展開し、その充実に取り組んでいます。

平成23年度は、開館から20年の節目の年を迎え、記念の特別事業を実施いたしました。

郷土分野は開館20周年記念事業として、展示事業を3つ実施しました。

春は、区内の文化財を紹介した企画展「かつしか風土記 ー文化財からのメッセージー」、夏は、古代東海道をテーマにした特別展「古代東海道と万葉の世界 ーかつしかに都と陸奥を結ぶ古代の東海道が通っていたー」、秋は区内唯一の人間国宝を取り上げた企画展「江戸小紋を伝える ー小宮家のわざと人ー」を開催し、期間中、大勢の方にご来館いただきました。中でも、親子二代にわたり重要無形文化財保持者に認定された小宮康助、康孝の両氏とそれを継いだ小宮康正氏の小宮家三代の技とそれを取り巻く人たちを取り上げた「江戸小紋を伝える ー小宮家のわざと人ー」は、大変好評を博しました。

一方、天文分野は開館20周年記念プラネタリウム番組として、宇宙のはじまりと太陽系の誕生をテーマにした「宇宙創世」を秋に公開しました。このほか、小学校5～6年生を対象にした星空観測会を1泊2日で日光林間学園を会場に実施しました。

なお、23年度の各事業の詳細については、それぞれの項目を参照ください。

1. 各種調査・講座・教室

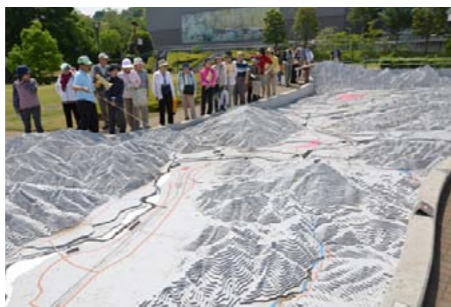
1-1 各種講座等

1-1-1 各種講座等の運営

平成23年度は、昨年度に開講した都市農業や農家の文化・風習について学ぶ「農家を訪ねる会」と江戸川の川漁の体験や江戸川の川漁の歴史や文化について学ぶ「川漁を学ぶ」の2講座について、都市農業を支えるボランティア活動を行う「農業ファンクラブ」と江戸川の自然環境を調査・研究を行う「川漁師ファンクラブ」へと発展させた。

また、平成23年度は平成23年3月11日に発生した東日本大震災の現状と復興に関する「環境学講座」を開催した。

このほか、根強い人気のある、現地へ赴き見学や体験を通して学ぶ館外講座を昨年度に引き続き実施しました。



館外講座(荒川源流バスツアー)

[p.07]



環境学講座

[p.08]



文化財めぐり

(文化財と花めぐり 一水元・花菖蒲一)

[p.12]

1-1-2 実施講座等の一覧

歴史 | 歴史入門講座

目的・内容 「続々・江戸の大変、化け物登場」として、かわら版を素材にした初心者向けの歴史講座を開催しました。かな文字解読の基礎を学んだり、江戸時代の怪異観を探りました。

回数 全3回

参加人員 延べ250人

江戸を知るX

目的・内容 「博覧会と明治の日本」と題して、明治政府が富国強兵・殖産興業政策を押し進めるため、積極的に参加・開催した博覧会が、近代化に果たした役割を当時の博覧会の様子を振り返りながら考えました。

回数 全1回

参加人員 延べ37人

鉄道史講座V

目的・内容 「きっぷで楽しむ鉄道の歴史」と題した鉄道講座。形や表記などさまざまな情報を盛り込んだ「きっぷ」から、日本の鉄道の歴史をたどりました。

回数 全1回

参加人員 延べ61人

館外講座(荒川源流バスツアー)

目的・内容 東京低地の重要な河川の一つである荒川の上流部とダム群を訪ねる見学バスツアーと事前の学習会を開催しました。

回数 全1回

参加人員 延べ89人

館外講座(多摩川源流バスツアー)

目的・内容 多摩川、小河内ダム、道の駅たばやま等を見学するバスツアーと事前の学習会を開催しました。

回数 全1回

参加人員 延べ91人

館外講座(関東平野眺望バスツアー)

目的・内容	利根川流域に大きな影響を与える赤城山の火山地形と支流部のダム群を見学し、東京低地との関連を学びました。
回数	全1回
参加人員	延べ89人

環境学講座

目的・内容	「東日本震災緊急報告会 東日本大震災から1年 - 大津波の実態とその惨状 -」と題して、東日本大震災の現状と復興に関する講座を開催しました。
回数	全2回
参加人員	延べ183人

河川環境学講座

目的・内容	「利根川と東京低地 1：利根川改変」「利根川と東京低地 2：葛西領の河川環境」と題し、関東平野の自然環境や、利根川本流が形成した東京低地の河川変遷史、河川と人間の歴史を多角的に学びました。
回数	全2回
参加人員	延べ224人

考古 考古学入門講座

目的・内容	「祈りの考古学」と題し、神道・仏教・キリスト教に関する祈りの世界を考古学的に解き明かす講座を開催しました。
回数	全3回
参加人員	延べ338人

かつしかの楽しみ方

目的・内容	葛飾区に関わる歴史や文化を題材に葛飾の魅力について考える講座。「文芸から見るかつしか」「かつしかの地名と歴史」と題した2つの講座を開催しました。
回数	全4回
参加人員	延べ316人

街歩き

目的・内容	堀切・小菅界隈の街歩きを行いました。その他、商工振興課との連携事業として「銭湯ウォーク」を行いました。
回数	全4回
参加人員	延べ120人

葛飾環境史事始

目的・内容	災害史と防災、環境の変遷と温暖化対策について学びました。
回数	全2回
参加人員	延べ54人

考古学セミナー

目的・内容	旧石器時代から近現代に至るまでの各時代像を考古学的に解説しました。
回数	全5回
参加人員	延べ340人

かつしか下町寄席

目的・内容	東京下町の暮らしと文化を、落語や芸能を通じて学ぶ講座を開催しました。(NPO法人と共同開催)
回数	全3回
参加人員	延べ215人

河川景観を学ぶ

目的・内容	荒川の川面の風景や街並みの河川景観の特徴を観察し、荒川流域の歴史や治水を学習しました。
回数	全1回
参加人員	延べ30人

東京大空襲と葛飾

目的・内容	葛飾探検団が東京大空襲の都心部や葛飾の被害の様子を解説し、葛飾区内の戦争遺跡を訪ね、戦争について考えました。
回数	全1回
参加人員	延べ44人

民俗 | 民俗学講座「楽しい正月を迎える」

目的・内容	注連飾りや雑煮、七草粥作りを体験する講座を開催しました。
回数	全3回
参加人員	延べ113人

中川源流バスツアー

目的・内容	葛飾区を流れている中川の源流の町、羽生市で池や田んぼの周りの生き物と人の暮らしのかかわりを学びました。利根大堰、埼玉水族館などを訪ねました。
回数	全1回
参加人員	延べ10人

日本酒の文化を学ぶ

目的・内容	日本酒と食文化、日本酒の魅力と楽しみ方などを学びました。また、首都圏の酒蔵を見学しました。
回数	全3回
参加人員	延べ126人

農村の文化を学ぶ会

目的・内容	昭和20年代の葛飾区の農家で伝承されていた生活文化の体験を通してその意義を考え、現代と将来の生活への活用について考えました。
回数	全2回
参加人員	延べ68人

交流市

目的・内容	葛飾産の新鮮野菜と茨城県つくばみらい市の野菜販売を行いました。
回数	全10回
参加人員	延べ448人

葛飾祭り学

目的・内容	節分と初午を題材に、伝承されている民俗行事を通じて葛飾区の生活文化について学習しました。
回数	全4回
参加人員	延べ84人

農業ファンクラブ

目的・内容	葛飾区内には現在も50軒以上の農家が生産を行っており、東京近郊の都市農業地帯として出色の存在となっています。この講座では、そうした農家をたずね、農作業体験や文化・風習を学びました。
回数	全6回
参加人員	延べ79人

川漁師ファンクラブ

目的・内容	江戸川の川漁体験を通して、人と川との交流の歴史について学びました。
回数	全6回
参加人員	延べ108人

民俗学講座「あの世を学ぶ」

目的・内容	「死後の世界」をテーマに、今も伝承されている伝統行事の現場を訪ね、体験的に学ぶ講座を行いました。
回数	全4回
参加人員	延べ137人

葛飾酒作り本舗

目的・内容	酒作りの勉強会と実地見学を行いました。
回数	全2回
参加人員	延べ90人

天文 | 星の講演会

目的・内容	最新の宇宙像について、天文学の第一線の研究者による初心者向けの講演会を開催しました。
回数	全7回
参加人員	延べ880人

民俗・天文 | 七夕の夕べ

目的・内容	七夕の星空と七夕の行事を学ぶ講座を開催しました。(天文と民俗の共同事業)
回数	全1回
参加人員	延べ100人

文化財 | 文化財めぐり

目的・内容	葛飾区内の文化財を文化財保護推進委員の解説で巡りました。
回数	全3回
参加人員	延べ132人

文化講座

目的・内容	「江戸小紋の魅力」と題し、江戸小紋職人 小宮康正氏より、その魅力や歴史について講演いただきました。
回数	全1回
参加人員	延べ142人

1-2 ボランティア事業

1-2-1 ボランティア事業について

博物館では200人を超えるボランティアの皆さんが、民俗・考古・天文の各分野の事業で活躍しています。

特に、5月5日と11月3日の博物館無料開放日には、ボランティアの皆さんが工夫を凝らしたブースを設け、来館者の方々に楽しんでいただいております。博物館の名物事業になっています。

このほか、天文ボランティアが担当している「太陽観望会」や「ギャラリートーク」は年々、参加者が増える傾向にあります。また、PTAや町会などの要請に応じて、学校や公園など会場に、望遠鏡で星空を観察する「移動観望会・出前観望会」は悪天候が重なり、残念ながら1回しか実施できませんでした。



田んぼサポーター
[p.14]



博物館まつり
[p.16]

1-2-2 ボランティア事業一覧

考古 | 葛飾考古学クラブ

目的・内容	発掘調査から収蔵資料の整理、活動成果の展示、遺跡調査報告会の開催など、一貫した調査研究を行いました。
回数	全21回
参加人員	延べ605人

葛飾探検団

目的・内容	葛飾やその周辺をフィールドとして、住宅・店舗・工場などの建物や産業、川・道・路傍の碑・寺社などを訪ねながら、近代以降の葛飾の暮らしや文化の変遷を調査・記録しました。
回数	全18回
参加人員	延べ258人

民俗 | 田んぼサポーター

目的・内容	米作りや野菜作りを学ぶ講座です。あわせて、こどもを対象とした農業体験教室「田んぼクラブジュニア」「畑クラブジュニア」(p.18)の指導支援も行いました。
回数	全16回
参加人員	延べ189人

天文 | 天文学入門講座

目的・内容	ボランティアを講師とした天文学の入門講座を開催しました。
回数	全4回
参加人員	延べ87人

かつしか星空散歩

目的・内容	ボランティアの指導による星空観望会を毎週金・土曜日に開催しました。
回数	全88回
参加人員	延べ2,640人

移動観望会

目的・内容	小学校や地域の夏祭り、夜間中学校などで観望会を実施しました。
回数	全1回
参加人員	延べ178人

太陽観察会

目的・内容	当館前で太陽望遠鏡による太陽の観察会を実施しました。
回数	全6回
参加人員	延べ803人

天文夏まつり

目的・内容	ボランティアによる天文展示の解説や工作教室を開催しました。
回数	全1回
参加人員	延べ778人

天文ボランティア研修

目的・内容	新人ボランティア向けに研修会を実施しました。
回数	全12回
参加人員	延べ248人

ギャラリートーク

目的・内容	ボランティアによる天文展示の解説を行いました。
回数	全6回
参加人員	延べ515人

大人のための宇宙塾

目的・内容	こどもを対象に宇宙の勉強をする教室「かつしか宇宙塾ジュニア」(p.20)に参加した保護者向けに、星座や太陽について勉強する講座を開催しました。
回数	全5回
参加人員	延べ161人

総合 | 博物館まつり

目的・内容

5月5日と11月3日の無料開放日に、ボランティアグループが日頃の活動の成果を発表するとともに、一般の人に博物館活動の紹介を行いました。

回数

全2回

参加人員

延べ1,373人

1-3 子どものための博物館事業

1-3-1 子どものための博物館講座（博物館ジュニア教室）

平成23年度のこどものための博物館事業は、「もの作りを体験する」「自然を体験する」をテーマに事業を展開しました。

「もの作りを体験する」をテーマにした事業では、「田んぼクラブジュニア」が米作りを行いました。22年度に新設した「畑クラブジュニア」は、大根、大豆、サツマイモ、白菜などの栽培にチャレンジしました。

一方、「自然を体験する」をテーマにした事業では、江戸川流域の自然環境を体験的に学ぶ「江戸川野遊び道場」をはじめ、農村の生活・文化を体験する「農村キャンプ」や山村の暮らしと文化を体験する「山村の夏休み体験ツアー」を行いました。

また、開館20周年記念事業として、望遠鏡で星空を観察する「星空体験ツアー」を日光で行いました。



山村の夏休み体験ツアー
[p.19]



ペーパークラフト模型教室
[p.18]

1-3-2 子どものための博物館講座一覧

歴史 | ペーパークラフト模型教室

目的・内容	帝釈人車鉄道のペーパークラフト模型作りの講座を開催しました。
回数	全2回
参加人員	延べ105人

考古 | かつしか調査隊

目的・内容	伝統文化などを学ぶ体験事業を開催しました。(今戸焼、竹とんぼ作り、ミニ門松作りなど)
回数	全7回
参加人員	延べ487人

| 学習支援出前講座

目的・内容	区内小学校などで縄文時代の体験や今戸焼き作りを行いました。
回数	全5回
参加人員	延べ209人

民俗 | 田んぼクラブジュニア

目的・内容	田植え、稲刈りなどの稲作体験講座を開催しました。
回数	全9回
参加人員	延べ350人

| 畑クラブジュニア

目的・内容	野菜植え付け、収穫などの畑作体験講座を開催しました。
回数	全5回
参加人員	延べ126人

| 江戸川野遊び道場

目的・内容	葛飾区にとって故郷の川である江戸川流域の自然を体験し、河川とともに発展した「葛飾」のなりたちを学び、郷土を愛する心を育む講座を開催しました。
回数	全11回
参加人員	延べ516人

| 手作りおもちゃ教室

目的・内容	竹を材料にした昔の手作りおもちゃ作りを体験しました。
回数	全1回
参加人員	延べ26人

| 農村体験キャンプ

目的・内容	茨城県つくばみらい市でのキャンプを通して、農村の生活・文化を体験しました。
回数	2泊3日
参加人員	延べ82人

| 山村の夏休み体験ツアー

目的・内容	福島県塙町で山村の暮らしと文化を体験するツアー。清流で生き物観察や山女のつかみどりなど水遊びをし、幻の盆踊り「ハネッコ踊り」を習いました。
回数	1泊2日
参加人員	延べ27人

| 体験イベント

目的・内容	昔に行われていた行事を来館者が体験する事業を開催しました。(七夕かざり)
回数	全1回
参加人員	延べ168人

歴史・考古・民俗 | かつしか郷土塾

目的・内容	小学校5～6年生を対象に、かつしかの歴史や自然、文化、農業などを学ぶ講座を開催しました。
回数	全6回
参加人員	延べ79人

天文 | 望遠鏡をつくろう

目的・内容	小・中学生を対象として、天体に興味をもち天体観測を楽しむことを目的に、望遠鏡の工作と使い方や仕組みを紹介する教室を開催しました。
回数	全4回
参加人員	延べ335人

| 星の学校

目的・内容	小学生を対象に、短期集中で星や宇宙について学ぶ教室。夏休み、冬休み、春休みの三季休業期間にあわせて実施しました。
回数	全6回
参加人員	延べ226人

| かつしかスペースカレッジ

目的・内容	中学生を対象にプラネタリウムを活用し、宇宙について学びました。
回数	全2回
参加人員	延べ29人

| かつしか宇宙塾

目的・内容	小学校5～6年生を対象にプラネタリウムを活用し、宇宙への夢を育み、科学への関心を高める事業を開催しました。
回数	全6回
参加人員	延べ577人

| かつしか宇宙塾ジュニア

目的・内容	小学校4年生を対象に、教科書だけで理解することが難しい天体の空間的な動きや宇宙の広がりについて、プラネタリウムを活用し、宇宙や科学への興味・関心を高める事業を開催しました。
回数	全5回
参加人員	延べ526人

| 星空体験ツアー

目的・内容	小学校5～6年生を対象にした日光林間学園での観望会を開催しました。
回数	1泊2日
参加人員	延べ46人

1-4-2 講演会・研究会の一覧

1-4 講演会・研究会の運営

1-4-1 講演会・研究会の運営について

特別展や企画展の会期中に関連する講演会を開催しました。特別展「古代東海道と万葉の世界」の会期中には「近世の東海道」と「中世の東海道」をテーマにした講演会を開催しました。一方、企画展「かつしか風土記—文化財からのメッセージ」の会期中には、「かつしか風土記への招待」と題した講演会を開催しました。

このほか、NHKと共催で「大英博物館展」と「ボストン美術館展」の関連文化講座を開催し、好評を博しました。



葛飾区遺跡報告会

[p.23]

文化講演会

目的・内容

NHKと共催で「大英博物館展」「ボストン美術館展」の関連文化講演会を開催しました。

回数

全2回

参加人員

延べ275人

特別展記念講演会・記念シンポジウム

目的・内容

特別展「古代東海道と万葉の世界—かつしかに都と陸奥を結ぶ古代の東海道が通っていた—」(p.28)の関連イベントとして講演会とシンポジウムを開催しました。

回数

全2回

参加人員

延べ229人

企画展記念講演会

目的・内容

企画展「かつしか風土記—文化財からのメッセージ」(p.28)の関連イベントとして「かつしか風土記への招待」と題した講演会を開催しました。

回数

全1回

参加人員

延べ75人

企画展記念イベント

目的・内容

企画展「かつしか風土記—文化財からのメッセージ」(p.28)の記念イベントとして、展示解説を行いました。

回数

全5回

参加人員

延べ99人

葛飾区遺跡報告会

目的・内容

葛飾区内遺跡の現状を報告しました。

回数

全1回

参加人員

延べ43人

葛飾区遺跡報告会記念講演会

目的・内容	「武家の都鎌倉における災害と開発」と題する講演会を開催しました。
回数	全1回
参加人員	延べ60人

花菖蒲研究会

目的・内容	葛飾区の区花である花菖蒲の植替えなどの栽培技術や室内展示方法について紹介する研究会を、日本花菖蒲協会との共催で開催しました。
回数	全1回
参加人員	延べ50人

1-5 資料調査

1-5-1 資料調査

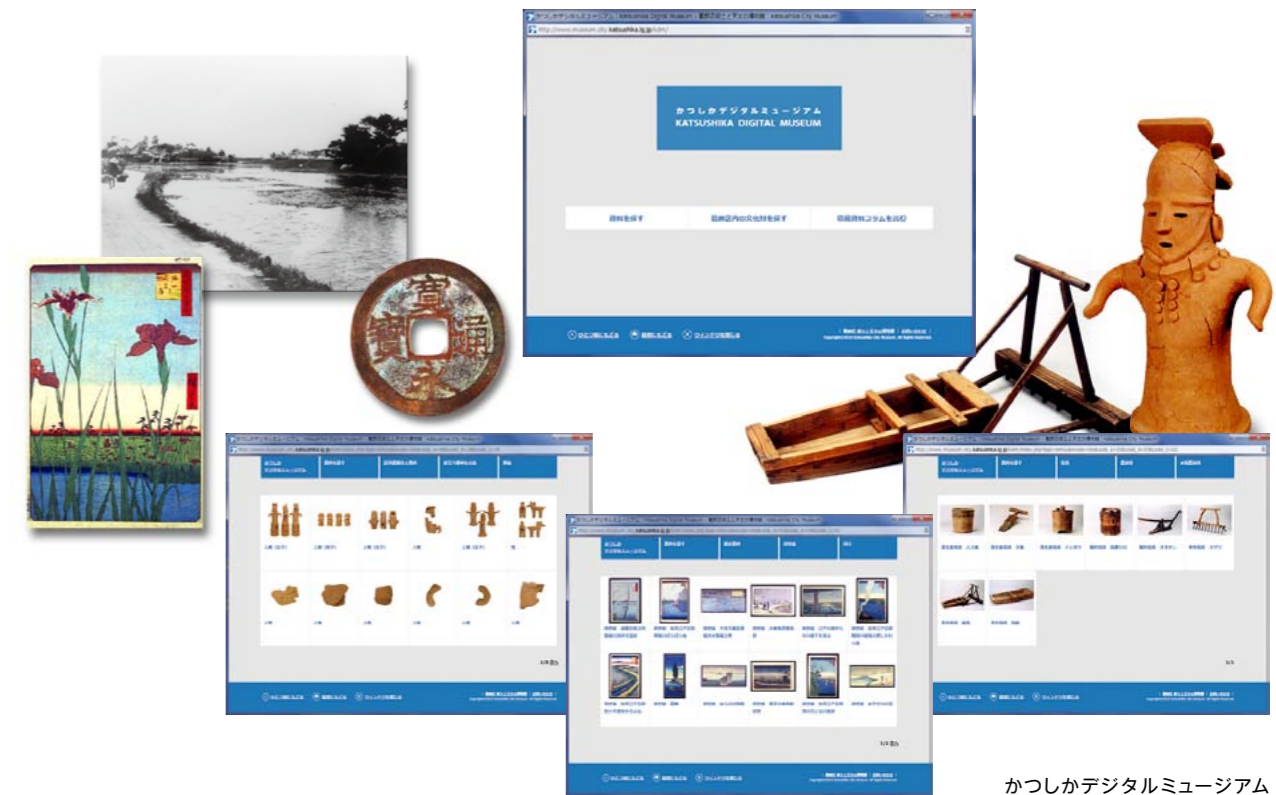
葛飾区郷土と天文の博物館は、平成23年に開館から20周年の節目の年を迎えました。この間、博物館では郷土の歴史に関する調査を進めており、学芸員をはじめ専門調査員は、様々な角度から区の歴史の解明にアプローチしています。

歴史の資料調査は、文献資料などの所在を調べ、整理し、解読、活字化、フィルム化する作業を実施しました。

また、考古学では地下に埋もれている遺構や遺物に加えて、発掘によって得られた遺物などの資料を整理・分析する作業を進め、郷土の歴史の解明に努めてきました。

一方、民俗学は暮らしの中で伝えられてきた行事や習慣から文化の成り立ちの変遷を探るとともに、年中行事などの伝統行事の調査や記録化、農業や産業・伝統技術の調査研究を進めてきました。

さらに、寄贈・収集した資料の整理を進め、平成23年4月からは、博物館のウェブサイトにてデジタルミュージアムとして、収集資料を公開しています。



かつしかデジタルミュージアム

1-5-2 資料調査事業一覧

歴史資料調査

目的・内容

葛飾区に関連した史・資料の所在調査及びフィルム化、デジタル化を行いました。

概要

花菖蒲・人車・水害関連絵図などの調査を行いました。

考古学学術調査

目的・内容

葛西城址第三次学術調査を実施し、現地説明会や発掘教室を行いました。

概要

館内では、柴又八幡神社古墳や葛西城址第二次調査の整理を行いました。

考古学専門調査

目的・内容

葛飾の収蔵品及び今土焼などの窯業関連資料の記録化を行いました。

概要

寄贈資料、館収蔵資料の調査を行いました。

民俗資料調査(共同研究)

目的・内容

葛飾区に関わる身近な民俗を調査し、資料の保存を図りました。

概要

東京低地と北総台地の伝統的な暮らしの調査を行いました。

2. 展示事業

2-1 特別展・企画展・収蔵品展

2-1-1 展示事業

平成23年度は、開館20周年を記念して特別展と企画展を開催しました。

春は、区内の文化財と江戸期から明治期にかけての葛飾の様子を紹介した企画展「かつしか風土記 —文化財からのメッセージ—」を開催しました。

また、夏は京から東国へ延びていた古代東海道を取り上げた特別展「古代東海道と万葉の世界 —かつしかに都と陸奥を結ぶ古代の東海道が通っていた—」を開催しました。

さらに、秋には区内唯一の人間国宝の技を取り上げた企画展「江戸小紋を伝える —小宮家のわざと人—」を開催しました。

そのほか、年度末には、寄贈・収集した資料を展示した「収蔵品展」と考古学ボランティアの活動の成果を展示した「活動成果展」を同時に開催しました。



江戸小紋を伝える —小宮家のわざと人—

[p.28]

2-1-2 展示事業一覧

特別展「古代東海道と万葉の世界

—かつしかに都と陸奥を結ぶ古代の東海道が通っていた—

内容	古代東海道と区内の古代東海道の様子を紹介しました。
会期	平成23年7月20日～平成23年9月4日
観覧者数	13,736人

企画展「かつしか風土記 —文化財からのメッセージ—

内容	葛飾区内の文化財と江戸から明治期のかつしかの姿を再現した展示を行いました。
会期	平成23年4月29日～平成23年6月12日
観覧者数	10,485人

企画展「江戸小紋を伝える —小宮家のわざと人—

内容	区内唯一の人間国宝である小宮家の人々の技と、小宮家を取り巻く職人の技を紹介する展示を行いました。
会期	平成23年10月8日～平成23年12月4日
観覧者数	16,377人

収蔵品展 葛探写真館「かつしか昭和の風景6」

内容	葛飾探検団が収集した葛飾に関する昭和の風景が知られる写真を展示しました。(活動成果展と同時開催)
会期	平成24年3月14日～平成24年5月12日
観覧者数	9,117人

考古学ボランティア活動成果展

内容	考古学ボランティアの活動の成果を展示しました。(収蔵品展と同時開催)
会期	平成24年3月14日～平成24年5月12日
観覧者数	9,117人

3. プラネタリウム事業

3-1 プラネタリウム事業

3-1-1 プラネタリウム事業

プラネタリウムは、季節ごとに番組の入れ替えを行っており、春はクラシック音楽に耳を傾けながら宇宙を旅する「シンフォニー・オブ・ユニバース 第3番」、夏は定番となったクイズに答えながら宇宙を巡る「クイズ・スター&プラネット」、秋は開館20周年を記念した特別番組「宇宙創世」、冬は宇宙から見た地球「アーススケープ 宇宙から見た地球」を制作しました。

このほか、音楽を聴きながら星空を楽しむ「ミュージックプラネット」を3番組制作しました。



シンフォニー・オブ・ユニバース 第3番
[p.30]



宇宙創世
[p.30]

3-1-2 プラネタリウム番組

春番組「シンフォニー・オブ・ユニバース 第3番」

内容	一般向けのプラネタリウム番組
期間	平成23年4月16日～平成23年7月10日
観覧者数	2,279人

夏番組「クイズ! スター & プラネット2011」

内容	一般向けのプラネタリウム番組
期間	平成23年7月16日～平成23年9月4日
観覧者数	4,685人

秋番組「宇宙創世」

内容	一般向けのプラネタリウム番組
期間	平成23年10月1日～平成23年12月25日
観覧者数	3,850人

冬番組「アーススケープ 宇宙から見た地球」

内容	一般向けのプラネタリウム番組
期間	平成24年1月14日～平成24年4月20日
観覧者数	2,937人

アンコールスペシャル

内容	一般向けのプラネタリウム番組を再放映
期間	平成23年9月10日～平成23年9月30日
観覧者数	604人

ミュージックプラネット

内容	プラネタリウムの優れた音響システムを活用し、心地よい音楽と宇宙の話題を楽しんでいただく番組
期間	通年95回
観覧者数	4,476人

アンコールアワー

内容	過去に上映した人気を博した季節の番組
期間	通年162回
観覧者数	9,334人

プラネタリウムコンサート

内容	生演奏と星空を楽しむ
期間	年間10回開催
観覧者数	1,253人

こども番組

内容	幼児～小学校低学年向け番組
期間	通年51回
観覧者数	2,562人

団体放映

内容	一般団体向けの放映
期間	通年
観覧者数	5,370人

学習放映

内容	幼稚園・保育園・小・中・高校向けの放映
期間	通年
観覧者数	14,783人